

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公表特許公報 (A)

(11)特許出願公表番号

特表平8-506942

(43)公表日 平成8年(1996)7月23日

(51)Int.Cl.⁹ 識別記号 庁内整理番号 F I
H 0 4 N 7/16 A 8836-5C
7/173 8836-5C

審査請求 未請求 予備審査請求 有 (全155頁)

(21)出願番号 特願平6-514249
(86)(22)出願日 平成5年(1993)12月2日
(85)翻訳文提出日 平成7年(1995)6月9日
(86)国際出願番号 PCT/US93/11708
(87)国際公開番号 WO94/14284
(87)国際公開日 平成6年(1994)6月23日
(31)優先権主張番号 07/991, 074
(32)優先日 1992年12月9日
(33)優先権主張国 米国 (US)

(71)出願人 ディスカバリー・コミュニケーションズ・
インコーポレーテッド
アメリカ合衆国メリーランド州20814-
3522, ベセスダ, ウィスコンシン・アベニ
ュー 7700
(72)発明者 ヘンドリックス, ジョン・エス
アメリカ合衆国メリーランド州20854, ポ
トマック, パーシモン・ツリー・ロード
8723
(74)代理人 弁理士 湯浅 恭三 (外6名)

最終頁に続く

(54)【発明の名称】 テレビ番組配送システム上で提供される番組を提案する番組再編成可能型端末

(57)【要約】

視聴用番組を提案するテレビ番組搬送システム(220)のための新規な再プログラム可能なセットトップターミナル(220)が述べられている。本願発明は、セットトップターミナル(220)を再プログラムし、視聴者のために加入者に提案する番組を選択及び表示する方法と装置に関する。本願発明は、テレビ番組搬送システム(200)において特に役立つ。テレビ番組搬送システムは、数百の番組チャンネルと、メニュー作動番組選択システムと、データを搬送し利用可能な番組選択肢を確認する番組制御情報信号とを備える。具体的には、本願発明は、ターミナルのメモリを遠隔的に再プログラムし、加入者に提案する番組を選択するためにデータを集め分析することに関する。本願発明は、入力信号を受信する手段と、プロセッサ(602)と、メモリと、テレビやモニターに表示できるようにメニュースクリーンを出力する手段とを備えるターミナルである。種々のデータを集め分析する技術が、メニューに表示する番組の選択を確立するために使用される。

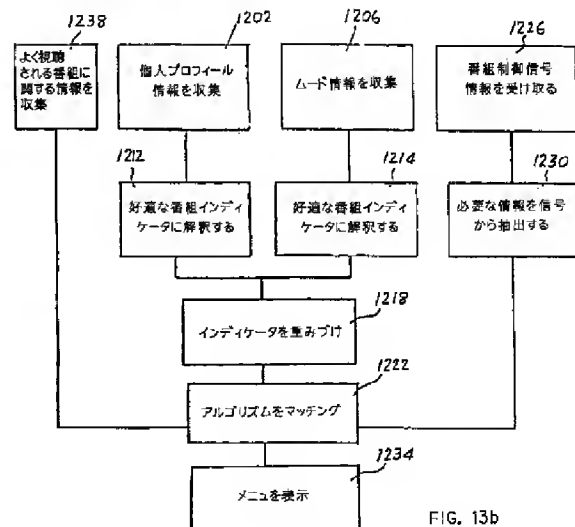


FIG. 13b